

夫婦ケヤキ

相倉集落の上、鹿熊峠へ登る道は大樹が茂りあって木立が深い。その中に樹勢盛んに枝を広げているケヤキの巨木がある。根元から5メートルばかりのところまで幹が二つに分かれ、少しあがってまたくっつき合っているのが夫婦ケヤキといわれている。昔、雪崩をこの夫婦ケヤキが受け止め、村の家を守ってくれたと語られている。

高坪林道・周回遊歩道

一週/徒歩40分
夫婦ケヤキ・相倉集落全景
撮影スポット経由森林浴コース

廿日石

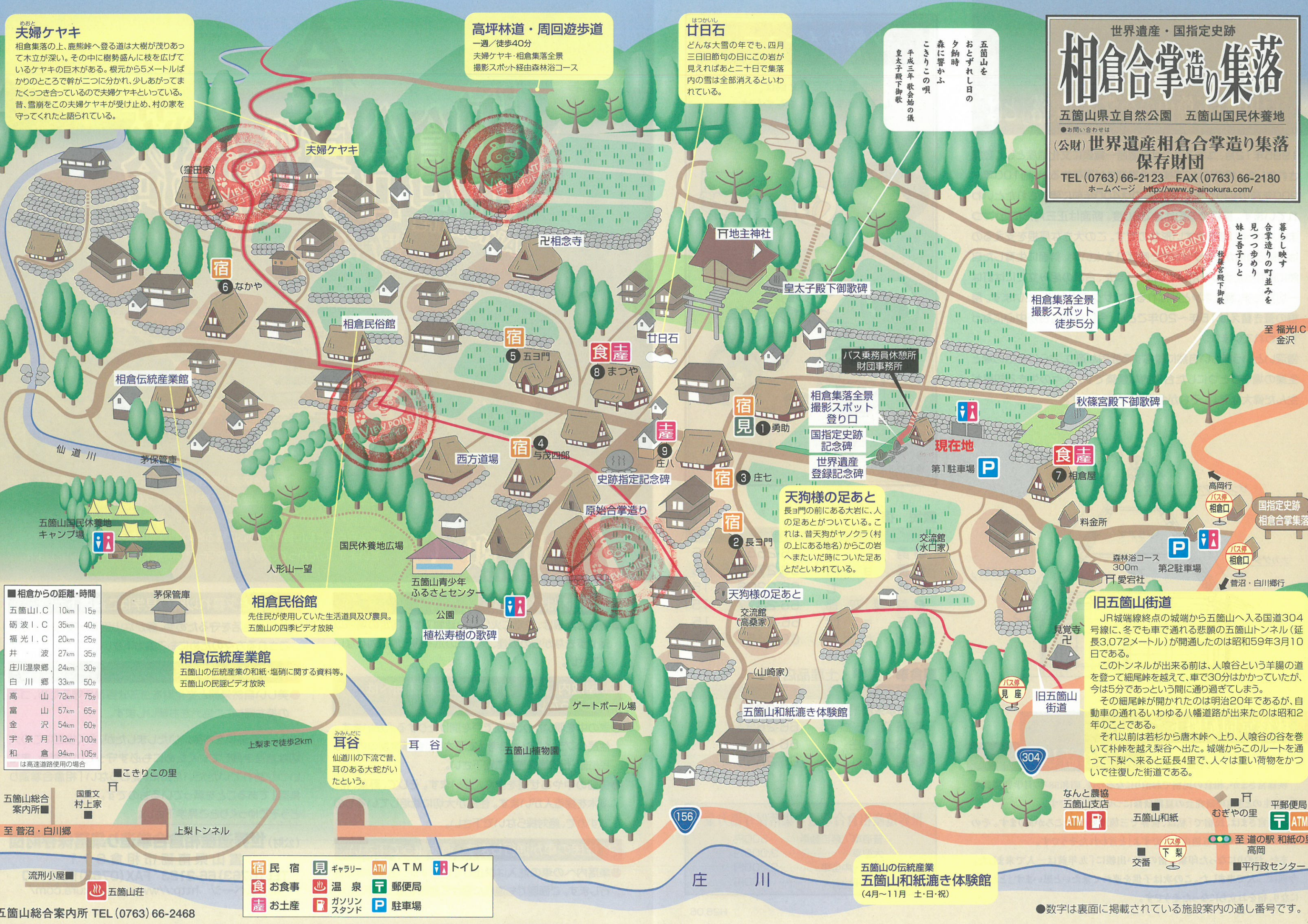
どんな大雪の年でも、四月三日旧節句の日にこの岩が見えればあと二十日で集落内の雪は全部消えるといわれている。

五箇山を
おとすれし日の
夕餉時
森に響かふ
こきりこの唄
平成三年歌会始の儀
皇太子殿下御歌

世界遺産・国指定史跡
相倉合掌造り集落

五箇山県立自然公園 五箇山国民休養地
●お問い合わせは
(公財)世界遺産相倉合掌造り集落
保存財団
TEL (0763) 66-2123 FAX (0763) 66-2180
ホームページ <http://www.g-ainokura.com/>

暮らし映す
合掌造りの町並みを
見つつ歩めり
妹と吾子らと
秋篠宮殿下御歌



相倉からの距離・時間

五箇山I.C	10km	15分
砺波I.C	35km	40分
福光I.C	20km	25分
井波	27km	35分
庄川温泉郷	24km	30分
白川郷	33km	50分
高山	72km	75分
富山	57km	65分
金沢	54km	60分
宇奈月	112km	100分
和倉	94km	105分

■は高速道路使用の場合

五箇山総合案内所
至 菅沼・白川郷
流刑小屋
五箇山荘

相倉民俗館
先住民が使用していた生活道具及び農具。
五箇山の四季ビデオ放映

相倉伝統産業館
五箇山の伝統産業の和紙・塩硝に関する資料等。
五箇山の民謡ビデオ放映

耳谷
仙道川の下流で昔、
耳のある大蛇がいたという。

天狗様の足あと
長ヨ門の前にある大岩に、人の足あとがついている。これは、昔天狗がヤノクラ(村の上にある地名)からこの岩へまたいだ時についた足あとだといわれている。

相倉集落全景撮影スポット
国指定史跡
記念碑
世界遺産
登録記念碑

旧五箇山街道
JR城端線終点の城端から五箇山へ入る国道304号線に、冬でも車で通れる悲願の五箇山トンネル(延長3,072メートル)が開通したのは昭和59年3月10日である。
このトンネルが出来る前は、人喰谷という羊腸の道を登って細尾峠を越えて、車で30分はかかっていたが、今は5分であっという間に通り過ぎてしまう。
その細尾峠が開かれたのは明治20年であるが、自動車の通れるいわゆる八幡道路が出来たのは昭和2年のことである。
それ以前は若杉から唐木峠へ上り、人喰谷の谷を巻いて朴峠を越え梨谷へ出た。城端からこのルートを通って下梨へ来ると延長4里で、人々は重い荷物のかついで往復した街道である。

- 宿 民宿
- 食 お食事
- 土産 お土産
- 見 ギャラリー
- 温泉
- ガソリンスタンド
- ATM
- 郵便局
- 駐車場
- トイレ

五箇山の伝統産業
五箇山和紙漉き体験館
(4月~11月 土・日・祝)

●数字は裏面に掲載されている施設案内の通し番号です。